

# 感染対策 個人防護具着脱演習

令和 3 年 1 0 月 1 9 日

阿蘇医療センター

感染管理認定看護師

柿本純子

高橋 哲

# コロナウイルスを経験し学んだこと

- 標準予防策の重要性

  - 手指衛生

  - 個人防護具

  - 咳エチケット

  - 患者の配置

  - 環境の保持・・・10項目

- 非常時に備え、平常時の訓練の重要性

- 必要物品の備蓄管理

# 新型コロナウイルス感染症予防

- 手指消毒

アルコール消毒は効果がある  
直ぐに手指消毒が出来るように整備する  
職員は個人持ちにする。



**ポケットに  
手指消毒薬  
を入れない**

ポケットに汚染した手を入れ消毒薬を出すとポケットが汚染する。  
ポケットに手を入れる度に汚染する。

# 新型コロナウイルス感染症予防

咳エチケット

マスク装着

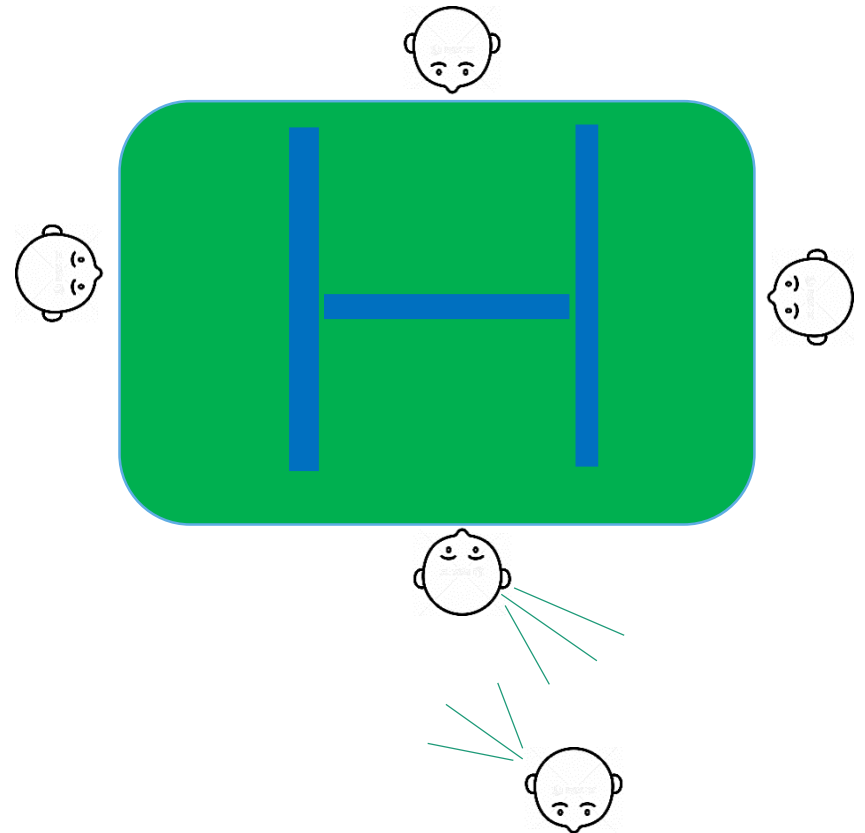
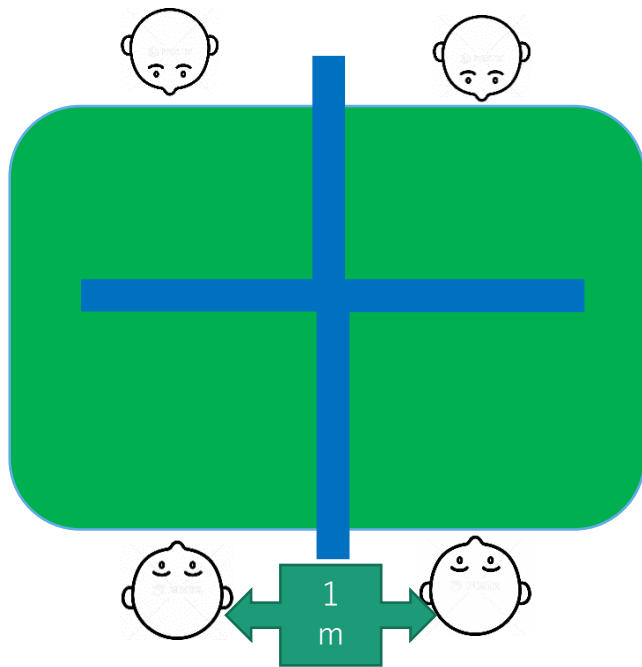
	不織布 マスク		布マスク		ウレタン マスク
吸い込み飛沫量	30%	<	55~ 65%	<	60~ 70%
吐き出し飛沫量	20%	<	18~ 34%	<	50%

スーパーコンピューター「富岳」による実験結果から

マスク2枚重ね装着  
感染防止は2倍にはなりません。

できるだけ隙間がないように装着することが最も大事

# 食事の時が要注意

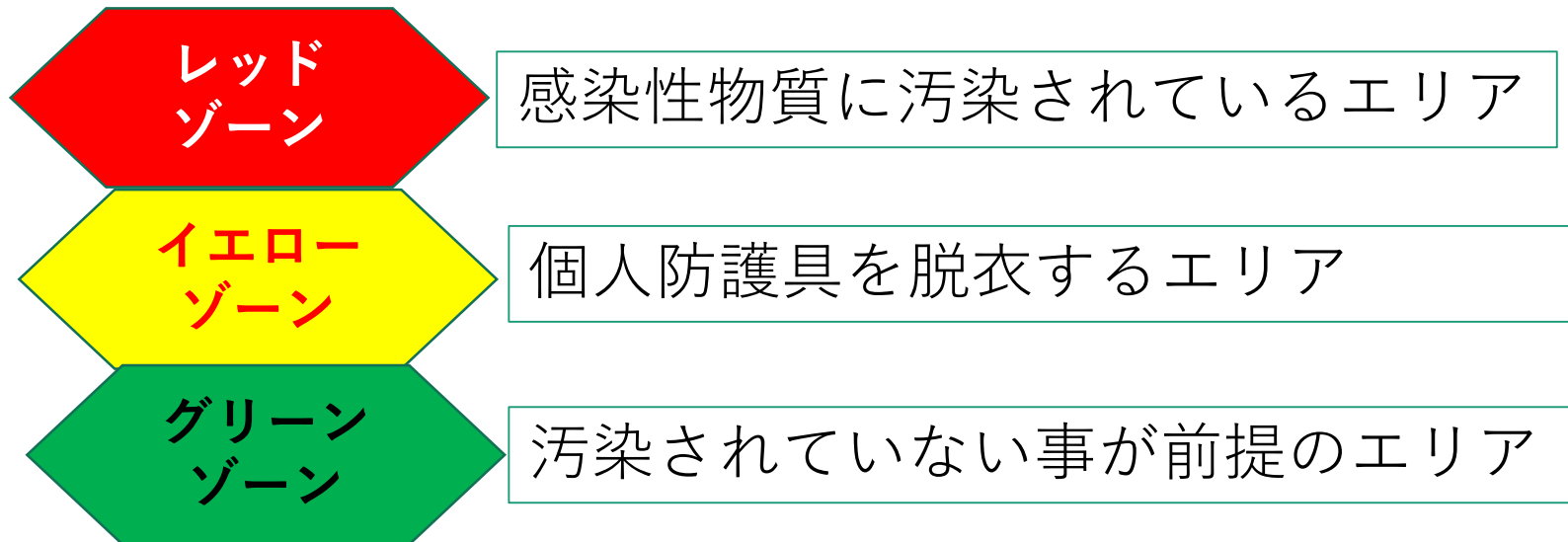


向き合って座らないような椅子に配置  
アクリル板の活用  
隣同志の間隔を開ける（1 m以上）

職員の休憩時にも当てはまる事です。

# 自施設でコロナ患者が発生した時

1. 発症患者は隔離
2. 濃厚接触者を早急に判別する
3. ゾーニングの実施 施設の平面図を準備しておく



スタッフステーション・休憩室  
グリーンゾーンまでの通路必ず確保する

# 自施設でコロナが発生した時

## 1. 陽性患者を速やかに隔離する

- ・ あらかじめ隔離部屋を設定してあれば、移動しゾーニングする
  - ・ 個室入居であればそのまま動かさない。
  - ・ 多床室であれば陽性者を残し、他の人を移動する事など等も検討する。
- 
- ・ 介助者は個人防護具を装着する。  
ガウン・マスク・手袋・フェースシールド
  - ・ 陽性患者はサージカルマスクのみ装着



# 自施設でコロナが発生した時

## 2. 濃厚接触者を判別する

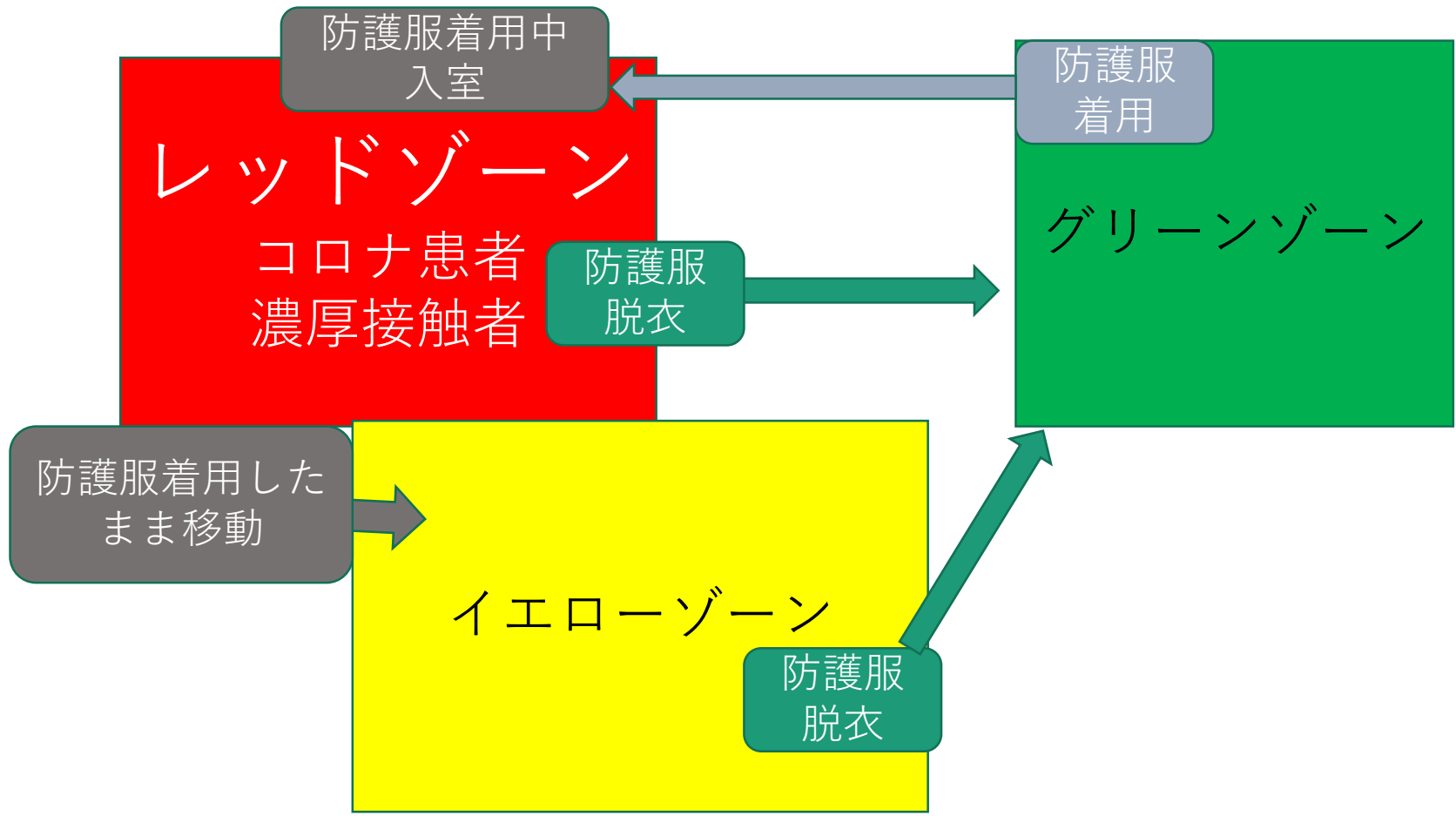
- 多床室の場合、同室者全員
- 同じテーブルで食事をする人等
- マスクせずに手の届く距離で15分以上会話をした人
- **濃厚接触者は入居者・職員すべて対象となり得る**  
リストを作成し、マスク装着していたか  
どの程度接触したか記入し保健所へ提出する
- 濃厚接触者に接する時は必ず防護具を装着する。  
ガウン・マスク・手袋・フェースシールド
- **濃厚接触者は個々に防護具をすべて交換。**
- **PCR陰性でも2週間は隔離し個別対応が必要。**





## 濃厚接触者を最少人数にすること

- 陽性者発生の際に濃厚接触者を直ぐに選別することが必要。
- グループ活動する場合は同室者は一緒にする  
グループメンバーは固定する。
- グループ間は一定の間隔を保つ。
- スタッフは部署を移動せず固定する  
できるだけ担当者を決めておく。



レッドゾーンで着用した防護服のまま  
グリーンゾーンには決して戻らない事

# 個人防護具

## ➤ 装着手順

- ① マスク
- ② エプロン・ガウン
- ③ ゴーグル・  
フェイスシールド

④ 手袋

最後

## ➤ 脱着の手順

外すときは周囲を汚染しないように安全な方法で外す  
汚染したエプロンやガウンは外側を中に包み込むようにする

最後に手指衛生を忘れない

# 手袋の外し方



① 片手で反対側の手首部分をつかむ



② 裏返しになるように静かに引き抜く



③ 脱いだ手袋を持つ



④ 素手で表面に触れないように内側へ手を入れる



⑤ 静かに裏返しになるように引き抜く



⑥ ひとつにまとめて破棄する

手袋を外した後は必ず手指消毒

# マスクの着け方・はずし方



1

鼻の部分を少し折る



2

耳にかける



3

鼻の形に合わせる



4

顎まで覆うように  
引き下げる



5

頬を押さえ隙間を  
なくす

はずし方



耳にかけたゴムひも  
を持って外す。  
表面を触らない

## N 9 5 マスク装着手順



① マスクの上下を確認し、  
広げノーズワイヤーに緩  
やかなカーブを付ける。



② ゴムひもを分離  
させる。



③ 上ゴムを人差し  
指、下ゴムを親指に  
かける。



④ 指を掛けたままゴムバンド  
を頭頂部に引き上げる。



⑤ 鼻と顎を覆い、マスクを押さえな  
がら上ゴムバンドを頭頂部へ下ゴム  
バンドを首回りに付ける。



⑥ 両手で密着するように軽く押す。ユー  
ザーシールチェックを行い密着の良い  
場所にマスクを合わせる。

### <ユーザーシールチェックの方法>

装着するたびに、実施する事

- ① 両手でマスク全体を覆い、ゆっくり息を吐き、マスクと顔の間から空気が漏れていないか確認する。
- ② 押さえた手を外し、息を吸うと、吸気にてマスクがややへこみ、呼気にて空気の漏れがないか確認する

# 正しい手指消毒方法

①



消毒薬を適量※  
手のひらに取ります  
※適量はメーカーによって異なります。  
添付文書等でご確認ください。

②



初めに両手の指先に  
消毒薬をすりこみます

③



次に手の平によく  
すりこみます

④



手の甲にもすりこんで  
ください

⑤



指の間にもすりこみます

⑥



親指にもすりこみます

⑦



手首も忘れずにすりこみます  
乾燥するまですりこんで下さい



# 正しい手洗い方法

①



流水で手をぬらした後、  
石けんを手にとります

②



手のひらをこすります

③



手の甲をのぼすように  
こすります

④



指先や爪先を手のひらに  
立てるようにこすります

⑤



指の間を洗います

⑥



親指をねじり洗いします

⑦



手首も忘れずに  
ねじり洗いします

⑧



流水でしっかりすすぎ  
洗い流します



# 図1 個人防護具の種類と着脱手順例

【通常の場面】

## 着用

ポイント①  
シールドマスク  
→ キャップ  
の順に着ける

ポイント②  
手袋でガウンの袖を覆う



## 脱衣

① ガウンと手袋は一緒に、裏返ししながら脱ぐ。



ガウンの表面をつかみ、



首のうしろ部分をちぎる。



裏が表になるように、



素手で表にふれないように



小さくまとめて、



捨てる。

② 手指衛生 ③ キャップ→シールドマスクの順に  
顔に触れないように外す。 ④ 手指衛生



②と④の手指衛生忘れずに！ 顔に触れない！ 丁寧に手順通り脱ぐ！

※図ではアイシールド付きマスク（シールドマスク）を使用していますが、マスクとゴーグルまたはフェースシールドの組み合わせも同様です。

# P3 アイソレーションガウンの着衣方法



①装着前に手指消毒



②N95マスクとキャップを着ける



③ガウンに袖を通す



④首にひもを結ぶ



⑤腰ひもを結ぶ。横に結んだ方が外しやすい



⑥フェイスシールドを装着する



⑦一枚目の手袋を装着する



⑧手首が出ないように穴をあけ、親指を入れる



⑨2枚目の手袋をはめる



完成



# P3 アイソレーションガウンの脱衣方法

						
①外側の手袋を外す	②手指消毒をする	③首の紐を外す 介助者がいれば 外してもらう	④腰の紐をほどく	⑤片方の袖の中に 手を入れ手が中 に入るまで脱ぐ	⑥半分抜いた手で 反対の袖を握り抜く	⑧外が中になるように 全体をまとめる
						
⑨感染性廃棄容器に 破棄する	⑩手指消毒をする	⑪フェイスシールド を外す	⑬手袋をはずす	⑭手指消毒をする	⑮マスクとキャップを 外す	⑯最後に手指消毒

## 感染症を伝播しないために

- ★手指衛生が最も重要
- ★マスク、手袋、ガウン、フェースシールドなど脱ぐときに汚染する
- ★個人防護具を脱ぐ時は、慌てずゆっくりと確実に
- ★正しい脱ぎ方ができるように普段から練習をしておく

ご静聴ありがとうございました